

全国盲学生点字競技大会 11月7日開催

この大会は、全国の盲学校の点字使用の児童生徒による競技大会で、日本の点字制定の日の11月1日を基本として、通信制で隔年で開催されます。今年度は、高等部の二人が選手です（小中学部では選手はいません）。種目は、①五十音、②転写、③聴写の三つ。①五十音は、制限時間（2分間）に、点字盤で五十音を順に繰り返し書いていくという種目です（②転写、③聴写、の詳細は省略）。採点では、「正しく書かれた字数」と「正しくなされたマスあけ数」を数え、そこから誤字や行間の打点、不正マスあけなどが減点されますので、正確にきれいに速く書くことで得点が伸びます。

選手からは、「いつもとは違う緊張感があったけど、自分の力は発揮することが出来た。」「もっとたくさん（制限時間内に）書けるといいな。」などという感想が聞かれ、終了後はほっとした様子でした。

以前は、和歌山盲学校においても小中高から選手が二人ずついて、学部賞や学校賞もいただいたこともある賑やかな大会だったことを思い出しました。これからは、どの盲学校の児童生徒の皆さんも一人一人の記録をしっかり伸ばしていって欲しいと感じたものです。



みんなでつくった さつまいもを収穫

学校の西側にある畑では、「さつまいも」を育てています。中高生徒会が中心となり、全校に参加を呼びかけ、昼休みの時間を利用し、草引きから、畑の畝作り、苗植えに取り組んできました。11/7の昼休み、今年最初の収穫作業でしたが、大きなさつまいもをたくさん収穫できました。このさつまいもは、11月24日の給食に登場します！また、子ども食堂の皆さんにもお裾分けする予定です。

5/2 草引き



5/20 畑の耕し作業



6/15 苗植え



11/7 さつまいも収穫

